

岡山県感染症週報 2015 年 第 23 週 (6 月 1 日～6 月 7 日)

◆2015 年 第 23 週 (6/1～6/7) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 22 週 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (50 代 男)
 梅毒 1 名 (40 代 男)
 第 23 週 2 類感染症 結核 3 名 (40 代 男 1 名、70 代 男 1 名・女 1 名)
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (60 代 男)
 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名 (50 代 男)
 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (40 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

○感染性胃腸炎は、県全体で 328 名 (定点あたり 7.72 → 6.07 人) の報告があり、前週より減少しました。
 ○手足口病は、県全体で 97 名 (定点あたり 1.63 → 1.80 人) の報告があり、前週より増加しました。

1. **感染性胃腸炎**は、県全体で 328 名 (定点あたり 7.72 → 6.07 人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、真庭地域 (11.50 人)、美作地域 (10.67 人)、備北地域 (7.50 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など、詳しくは「[感染性胃腸炎週報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015 年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
2. **手足口病**は、県全体で 97 名 (定点あたり 1.63 → 1.80 人) の報告があり、4 週連続で増加しました。地域別では、倉敷市 (1.64 → 3.18 人) 及び美作地域 (0.83 → 2.17 人) で、定点あたり報告数が前週より大きく増加しました。倉敷市、美作地域、備前地域 (1.50 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。第 22 週、全国では、西日本を中心に増加しており、徳島県 (11.57 人)、香川県 (6.86 人)、熊本県 (5.52 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。

例年、6 月頃から患者数の増加がみられ、7～8 月頃に流行のピークを迎えます。患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い・手指の消毒を励行する等、感染予防に努めましょう。

◆◆手足口病とは◆◆

夏に幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。コクサッキーウイルス、エンテロウイルスなどが原因となります。患者との濃厚接触や、便の中に含まれるウイルスにより、経口感染します。症状は、3～5 日の潜伏期の後、軽度の発熱とともに、口腔粘膜、手掌、足底や足背に 2～3mm の水疱性発疹が出現するのが特徴です。3～7 日で水疱が消え、通常予後は良好ですが、まれに髄膜炎、脳炎を起こすことがあります。特に、エンテロウイルス 71 型による手足口病は、中枢神経系合併症など、重症化する割合が高いと言われています。患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い・手指の消毒を励行することなどが、有効な感染予防になります。

[手足口病とは \(国立感染症研究所\)](#)

[IDWR 過去 10 年との比較グラフ 手足口病 \(国立感染症研究所\)](#)

3. **中東呼吸器症候群 (MERS)** は、2012 年に初めて確認された新種のコロナウイルス (MERS コロナウイルス) による感染症です。主に中東地域で患者が報告されていますが、ヨーロッパ (イタリア、イギリスなど) やアフリカ (エジプト、アルジェリアなど) のほか、韓国においても中東地域で感染した人 (輸入症例) およびその輸入症例患者と接触した人などの感染が報告されています。この感染症は、季節性インフルエンザのように、次々にヒトからヒトに感染すること (持続的なヒト-ヒト感染) はないとされており、主な症状は、発熱、せき、息切れなどで下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。特に高齢者や糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患のある人で重症化する傾向があります。

MERS 発生地域に行かれる際には、十分に手を洗う、不衛生な状況で調理された料理はさけるなどといった一般的な衛生対策を心がけましょう。また、せきやくしゃみをしている人、動物 (ラクダを含む) との接触は可能な限り避けましょう。

[中東呼吸器症候群 \(MERS\) \(国立感染症研究所\)](#)

[中東呼吸器症候群 \(MERS\) について \(厚生労働省\)](#)

[中東呼吸器症候群 \(MERS\) について \(岡山県感染症情報センター\)](#)

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↓	
咽頭結膜熱	→	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	★★
感染性胃腸炎	↘	★★	水痘	↑	★
手足口病	↗	★	伝染性紅斑	↘	★
突発性発疹	→	★	百日咳	↑	★
ヘルパンギーナ	↗	★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	→	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ↓ : 2 倍以上の減少 ↘ : 1.1～2 倍未満の減少 → : 1.1 未満の増減
 ↗ : 1.1～2 倍未満の増加 ↑ : 2 倍以上の増加
 発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

蚊が発生する季節になりました！

蚊が媒介する感染症に注意しましょう。

蚊が媒介する感染症は、デング熱、日本脳炎、マラリアなどがあります。特にデング熱は、デングウイルスをもつ蚊（日本ではヒトスジシマカ）に刺されることで起こる感染症で、主に熱帯・亜熱帯地域で流行しています。近年、海外渡航の増加などにより、海外で感染し帰国後発症する輸入症例が増加しており、昨年は、国内感染事例も報告されました。

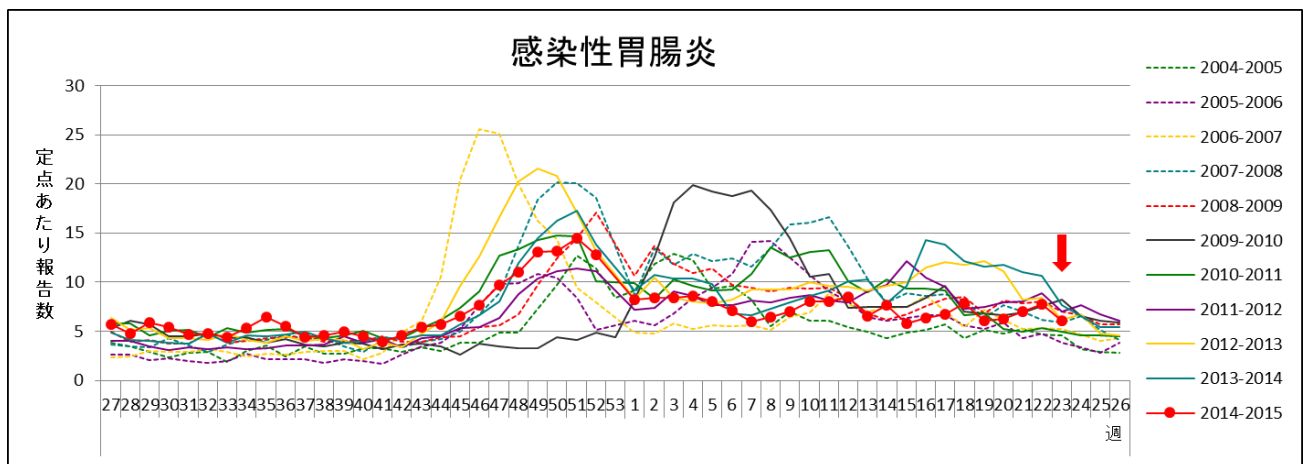
国内には、ウイルスは定着していないと考えられますが、今後も注意が必要です。

◎蚊に刺されないためのポイント

- 長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出を避ける。
- 虫よけ剤を使用し、蚊を寄せ付けないようにする。
- 室内の蚊の駆除を心がける。
- 蚊の幼虫の発生源をつくらないようにする。
 - ・植木鉢の受け皿や空き缶、ペットボトル、古タイヤに溜まった水は捨てる。
 - ・雨水タンクに蓋をする。
- 海外渡航の際は、設備（網戸やエアコンなど）が整った宿泊施設を利用する。

感染性胃腸炎週報 2015年 第23週 (6月1日～6月7日)

○感染性胃腸炎は、県全体で328名（定点あたり7.72 → 6.07人）の報告がありました（54定点医療機関報告）。

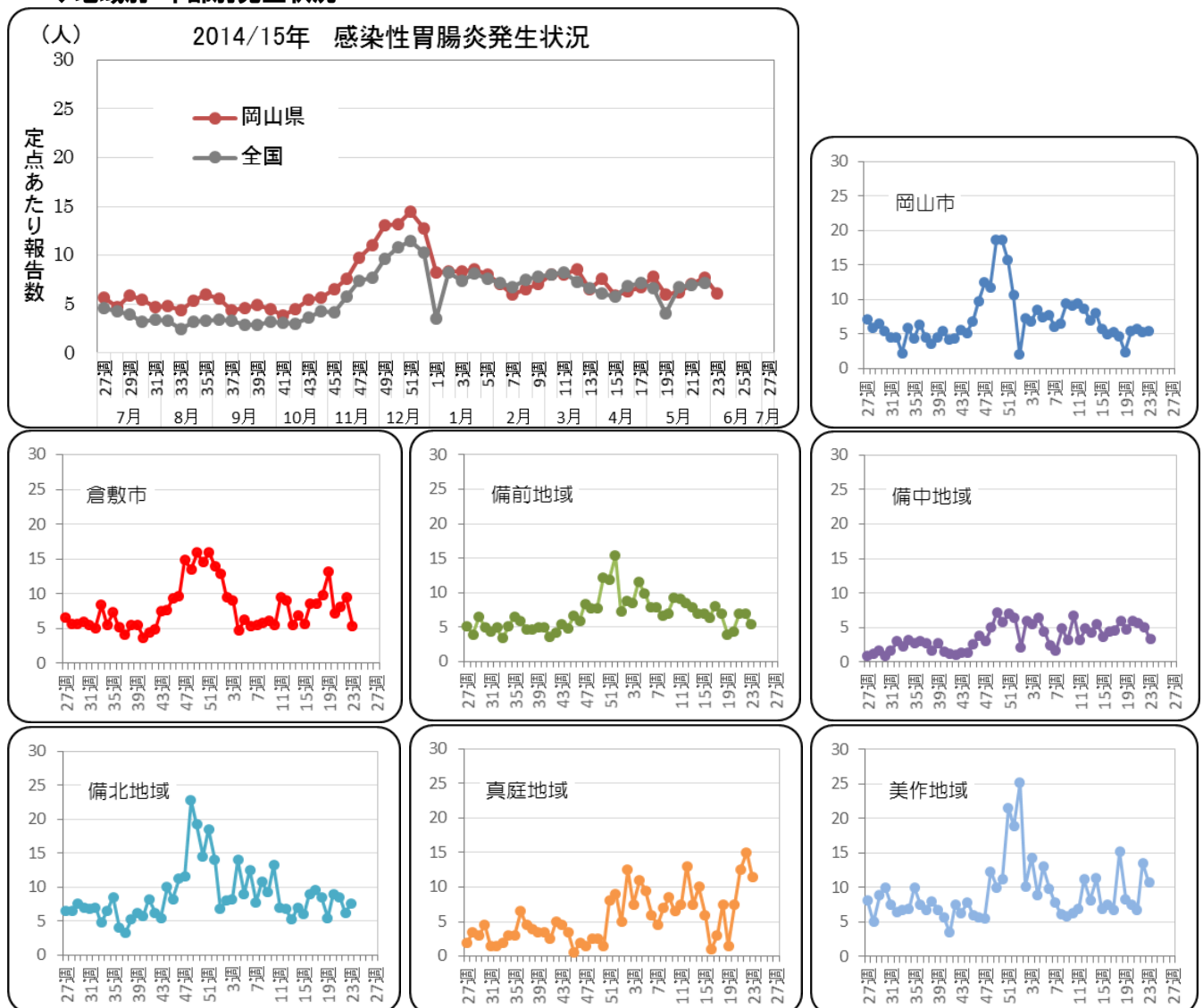


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

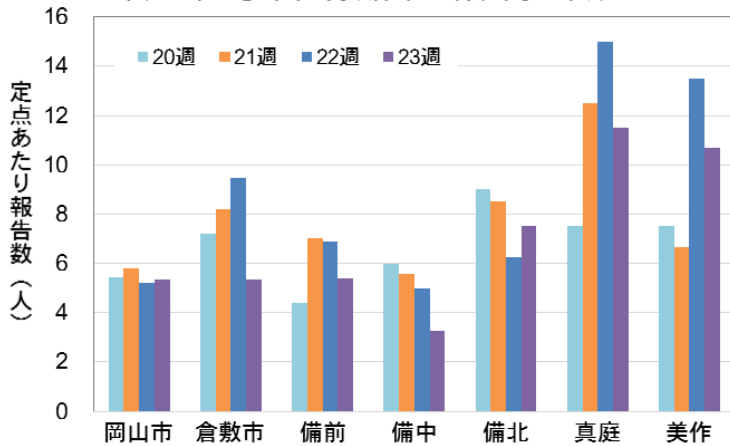
感染性胃腸炎は、県全体で328名（定点あたり7.72 → 6.07人）の報告があり、前週より減少しました。地域別では、真庭地域（11.50人）、美作地域（10.67人）、備北地域（7.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別割合では、5歳以下の乳幼児が全体の56%を占めています。

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。トイレの後や食事、調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手を洗うなど、感染予防に努めてください。

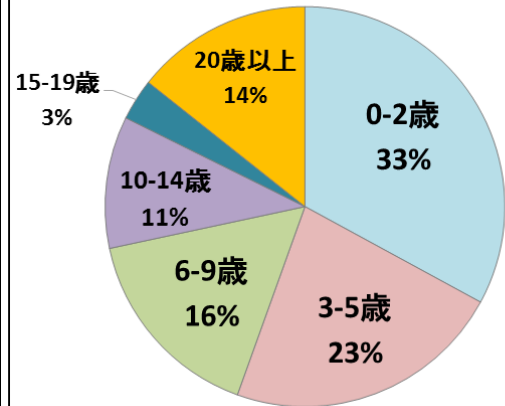
◆地域別・年齢別発生状況



岡山県 感染性胃腸炎地域別発生状況



感染性胃腸炎 第23週年齢別割合



◆◆◆ 食中毒を予防しましょう！ ◆◆◆

- 料理前・食事前・トイレの後には、手をよく洗いましょう。
- まな板・ふきんなどの調理器具は、十分に洗浄消毒しましょう。
- 生鮮食品や調理後の食品は、早めに冷蔵庫に入れましょう。
冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくり増殖するため、冷蔵庫を過信せず、早めに食べることが大切です。
- 加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
特に、食肉は中心部まで火を通し、生食は避けましょう。

[食中毒に関する情報（厚生労働省）](#)

保健所別報告患者数（定点把握）2015年 23週

（ 2015/06/01～2015/06/07 ）

2015年6月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	15	0.18	3	0.14	5	0.31	4	0.27	—	—	—	—	2	0.67	1	0.10
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	24	0.44	13	0.93	6	0.55	—	—	2	0.29	1	0.25	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	1.13	15	1.07	20	1.82	—	—	11	1.57	7	1.75	—	—	8	1.33
感染性胃腸炎	328	6.07	75	5.36	59	5.36	54	5.40	23	3.29	30	7.50	23	11.50	64	10.67
水痘	21	0.39	3	0.21	2	0.18	2	0.20	1	0.14	13	3.25	—	—	—	—
手足口病	97	1.80	20	1.43	35	3.18	15	1.50	10	1.43	3	0.75	1	0.50	13	2.17
伝染性紅斑	7	0.13	3	0.21	1	0.09	—	—	—	—	2	0.50	—	—	1	0.17
突発性発疹	22	0.41	7	0.50	6	0.55	5	0.50	1	0.14	2	0.50	—	—	1	0.17
百日咳	3	0.06	2	0.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.17
ヘルパンギーナ	22	0.41	5	0.36	4	0.36	1	0.10	11	1.57	1	0.25	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	13	0.24	—	—	1	0.09	1	0.10	1	0.14	—	—	—	—	10	1.67
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	3	0.25	2	0.40	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2	0.40	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（－： 0 or 0.00 ） （ 空白： 定点なし ）

保健所別報告患者数（発生レベル設定疾患）2015年 23週

（ 2015/06/01～2015/06/07 ）

2015年6月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	15	0.18	3	0.14	5	0.31	4	0.27	—	—	—	—	2	0.67	1	0.10
咽頭結膜熱	24	0.44	13	0.93	6	0.55	—	—	2	0.29	1	0.25	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	1.13	15	1.07	20	1.82	—	—	11	1.57	7	1.75	—	—	8	1.33
感染性胃腸炎	328	6.07	75	5.36	59	5.36	54	5.40	23	3.29	30	7.50	23	11.50	64	10.67
水痘	21	0.39	3	0.21	2	0.18	2	0.20	1	0.14	13	3.25	—	—	—	—
手足口病	97	1.80	20	1.43	35	3.18	15	1.50	10	1.43	3	0.75	1	0.50	13	2.17
伝染性紅斑	7	0.13	3	0.21	1	0.09	—	—	—	—	2	0.50	—	—	1	0.17
百日咳	3	0.06	2	0.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0.17
ヘルパンギーナ	22	0.41	5	0.36	4	0.36	1	0.10	11	1.57	1	0.25	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	13	0.24	—	—	1	0.09	1	0.10	1	0.14	—	—	—	—	10	1.67
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	3	0.25	2	0.40	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2015年 第23週 2015/06/01～2015/06/07)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	15	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-	2	3	1	3	-	-	1

疾病名	合計		-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	24	2	4	5	5	4	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	-	-	1	5	4	7	12	6	7	3	3	8	-	-	5
感染性胃腸炎	328	4	19	52	33	31	27	16	15	14	16	8	35	11	47	
水痘	21	-	-	3	9	2	1	3	2	1	-	-	-	-	-	
手足口病	97	1	11	29	18	14	7	3	7	3	2	2	-	-	-	
伝染性紅斑	7	-	1	1	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1
突発性発疹	22	-	8	11	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	22	2	3	8	6	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	3	-	2	4	1	-	2	1	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

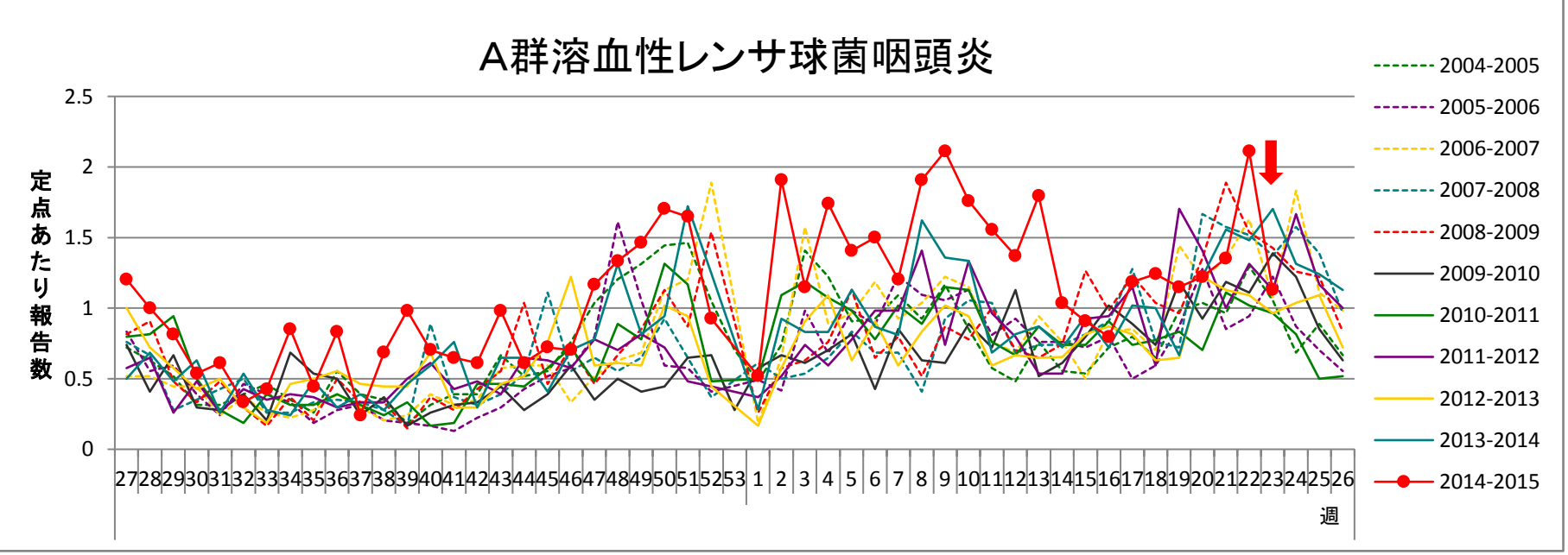
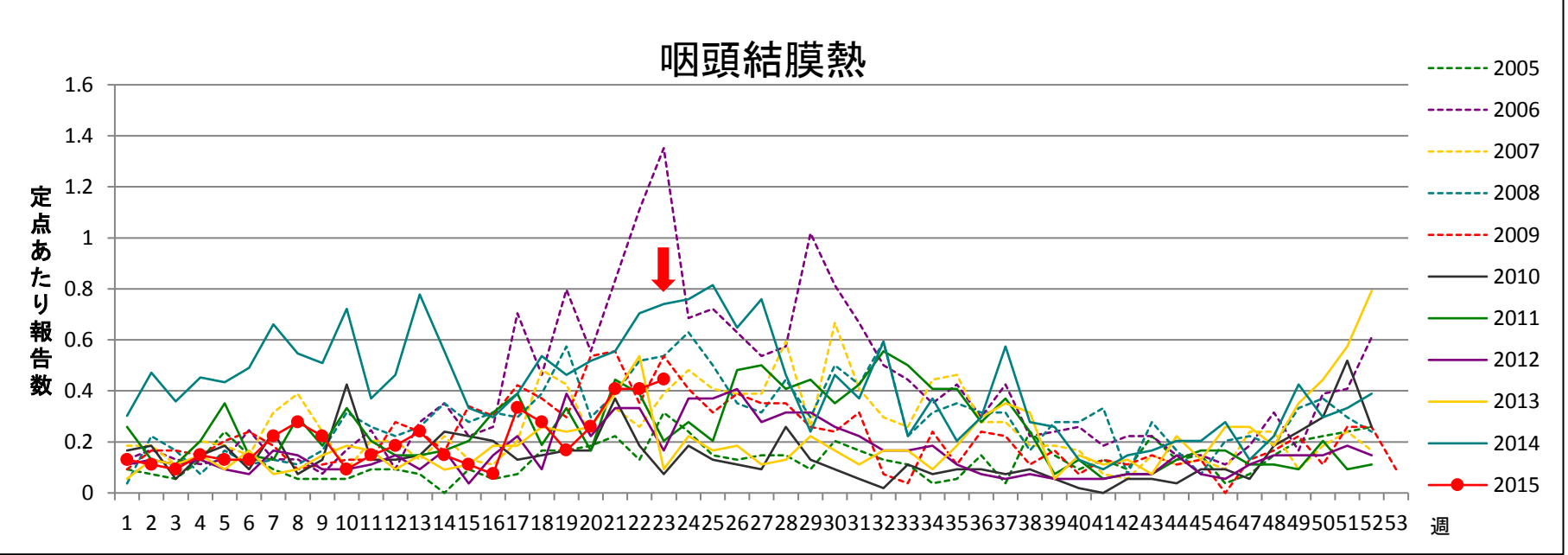
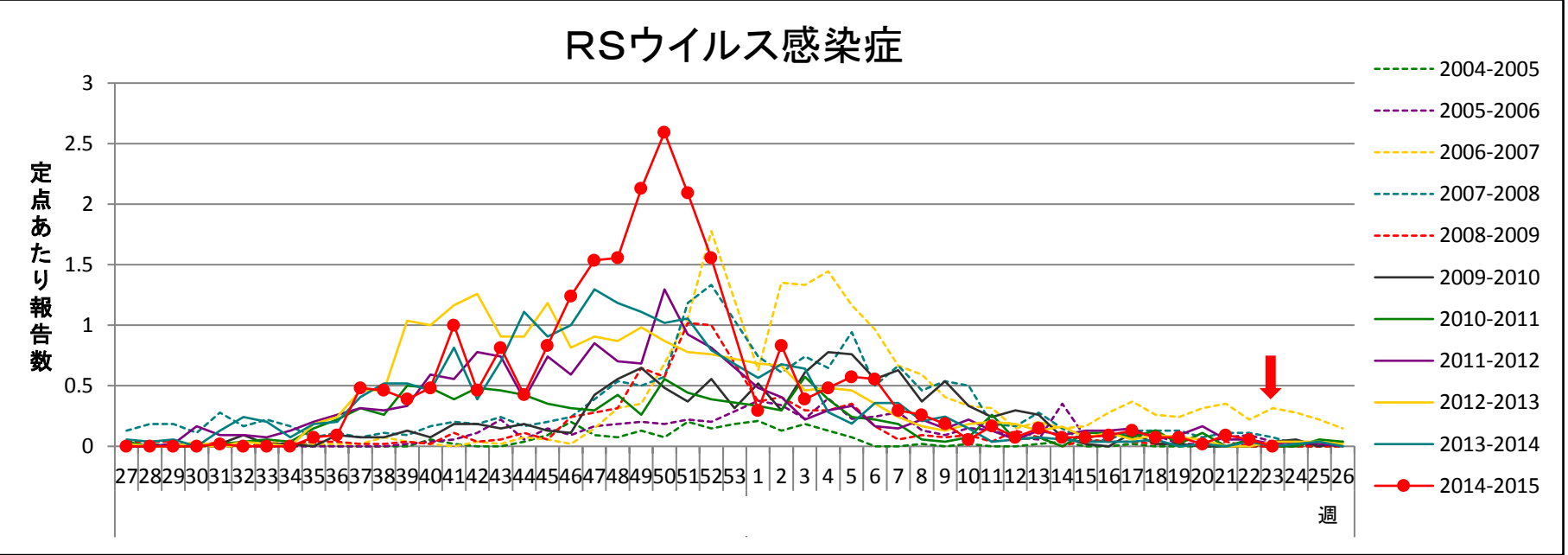
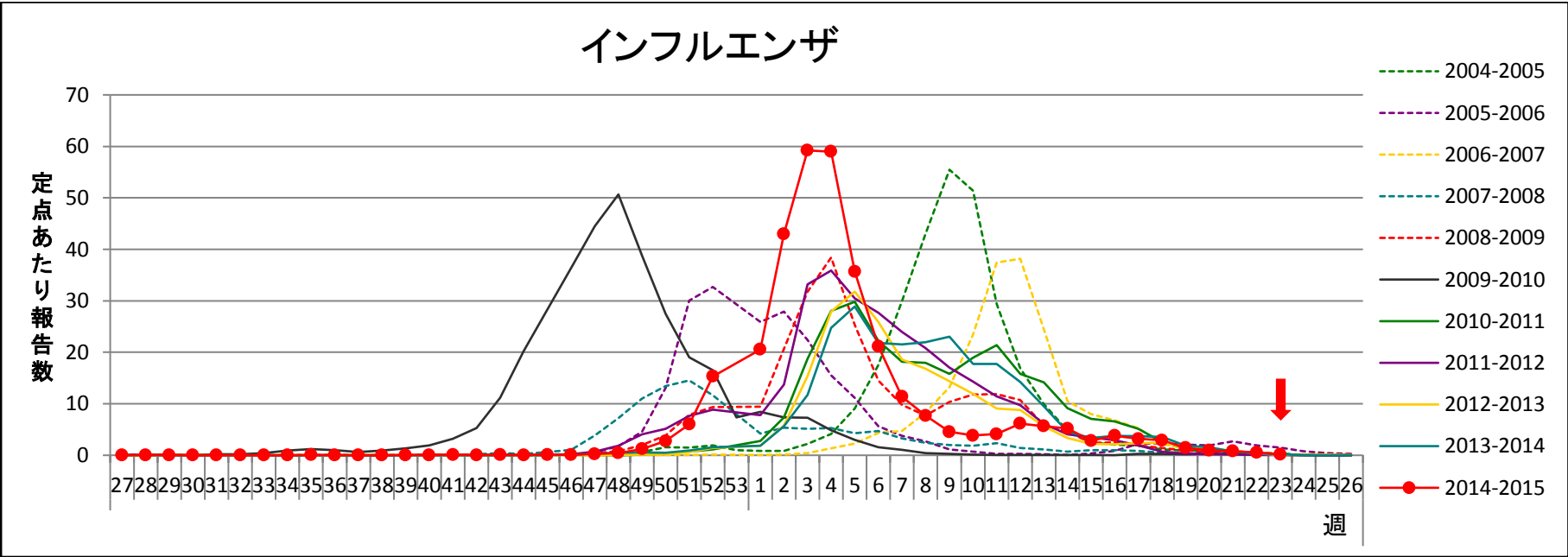
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

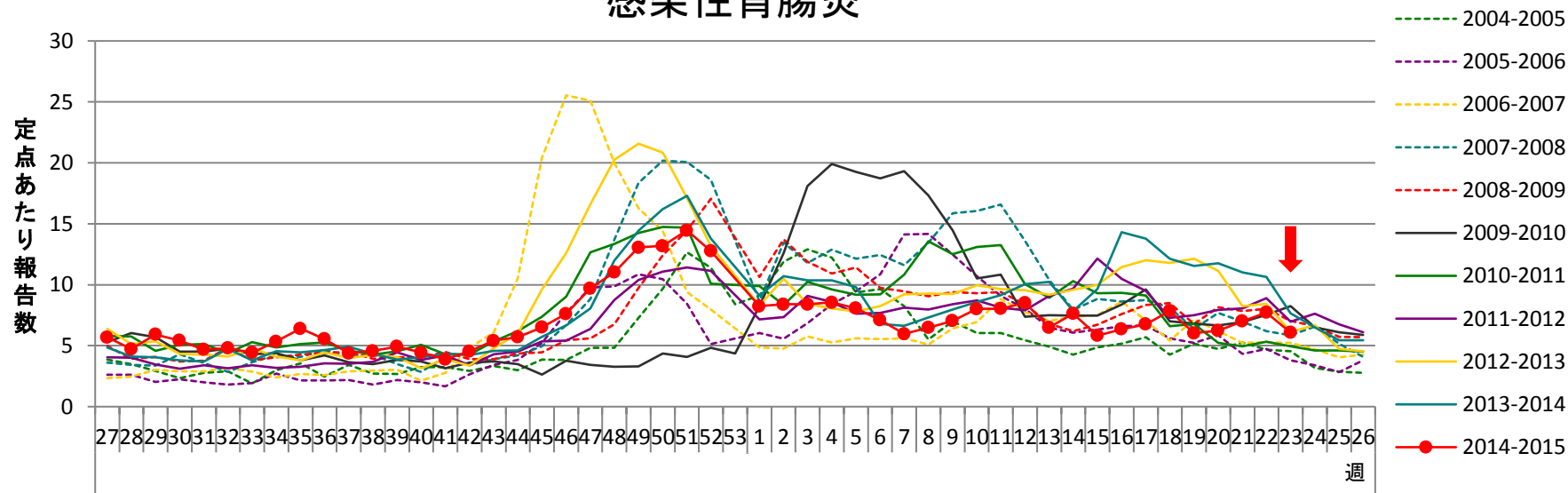
全数把握 感染症患者発生状況

2015 年 23 週

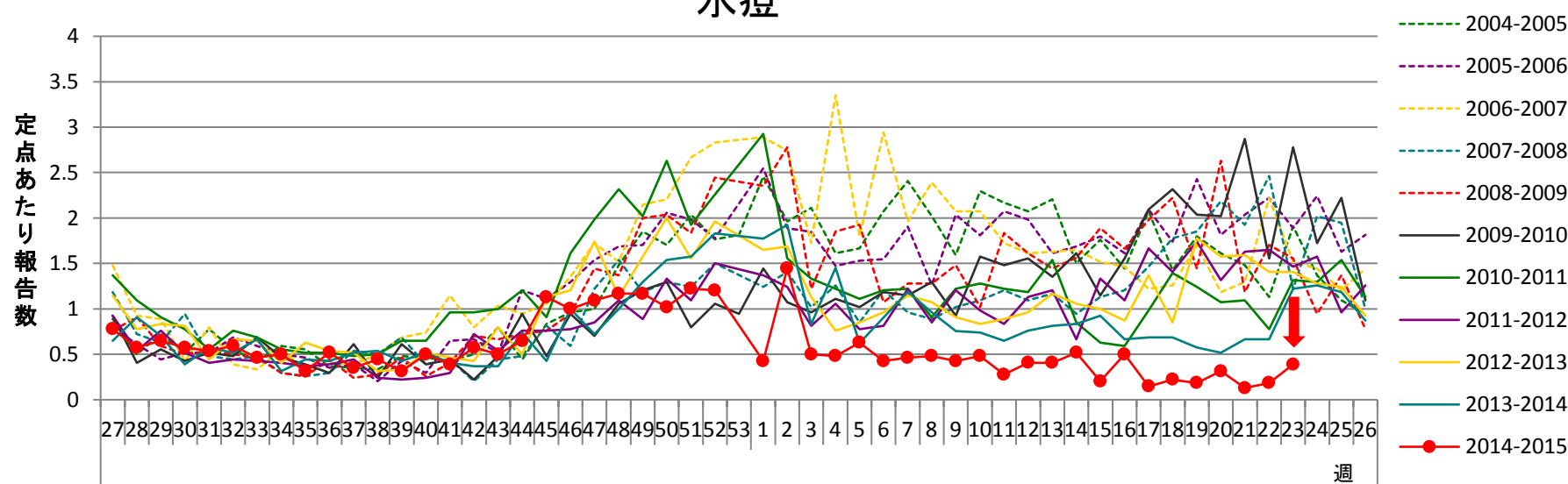
分類	疾病名	2015			疾病名	2015			疾病名	2015		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	－	－	－	クリミア・コンゴ出血熱	－	－	－	痘そう	－	－	－
	南米出血熱	－	－	－	ペスト	－	－	－	マールブルグ病	－	－	－
	ラッサ熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－
二類	急性灰白髄炎	－	－	－	結核	3	131	384	ジフテリア	－	－	－
	重症急性呼吸器症候群	－	－	－	中東呼吸器症候群	－	－	－	鳥インフルエンザ(H5N1)	－	－	－
	鳥インフルエンザ(H7N9)	－	－	－		－	－	－		－	－	－
三類	コレラ	－	－	－	細菌性赤痢	－	1	－	腸管出血性大腸菌感染症	－	3	71
	腸チフス	－	－	－	パラチフス	－	－	－		－	－	－
四類	E型肝炎	－	1	2	ウエストナイル熱	－	－	－	A型肝炎	－	5	8
	エキノкокクス症	－	－	－	黄熱	－	－	－	オウム病	－	1	－
	オムスク出血熱	－	－	－	回帰熱	－	－	－	キャサヌル森林病	－	－	－
	Q熱	－	－	－	狂犬病	－	－	－	コクシジオイデス症	－	－	－
	サル痘	－	－	－	重症熱性血小板減少症候群	－	－	2	腎症候性出血熱	－	－	－
	西部ウマ脳炎	－	－	－	ダニ媒介脳炎	－	－	－	炭疽	－	－	－
	チクングニア熱	－	－	－	つつが虫病	－	－	2	デング熱	－	－	1
	東部ウマ脳炎	－	－	－	鳥インフルエンザ	－	－	－	ニバウイルス感染症	－	－	－
	日本脳炎	－	－	－	日本紅斑熱	－	－	4	ハンタウイルス肺症候群	－	－	－
	Bウイルス病	－	－	－	鼻疽	－	－	－	ブルセラ症	－	－	－
	ベネズエラウマ脳炎	－	－	－	ヘンドラウイルス感染症	－	－	－	発しんチフス	－	－	－
	ボツリヌス症	－	－	－	マラリア	－	－	－	野兔病	－	－	－
	ライム病	－	－	－	リッサウイルス感染症	－	－	－	リフトバレー熱	－	－	－
	類鼻疽	－	－	－	レジオネラ症	1	9	32	レプトスピラ症	－	－	－
	ロッキー山紅斑熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－
五類	アメーバ赤痢	－	10	12	ウイルス性肝炎*3	－	4	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	－	17	12
	急性脳炎*4	－	6	9	クリプトスポリジウム症	－	1	－	クロイツフェルト・ヤコブ病	－	－	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	－	－	3	後天性免疫不全症候群	1	10	21	ジアルジア症	－	－	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	－	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	－	－	－	侵襲性肺炎球菌感染症	1	20	27
	水痘(入院例に限る。)	－	－	6	先天性風しん症候群	－	－	－	梅毒	－	8	21
	播種性クリプトкокクス症	－	1	1	破傷風	－	－	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	－	－	－
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	－	－	2	風しん	－	－	2	麻しん	－	－	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	－	－	－		－	－	－		－	－	－



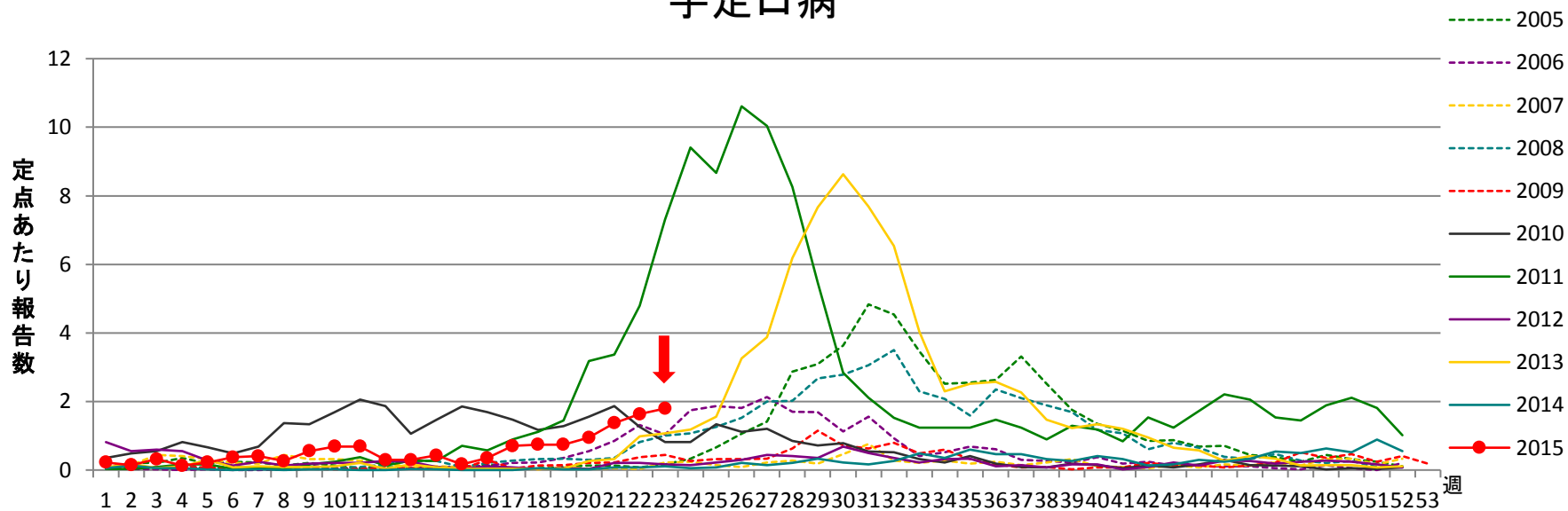
感染性胃腸炎



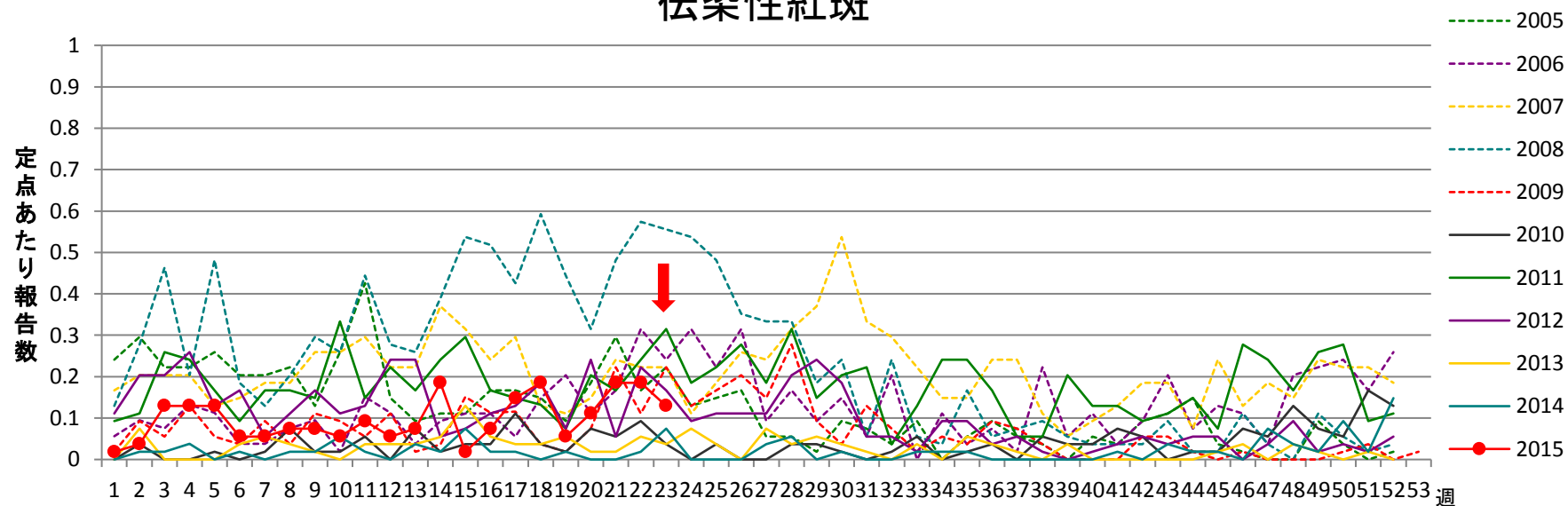
水痘



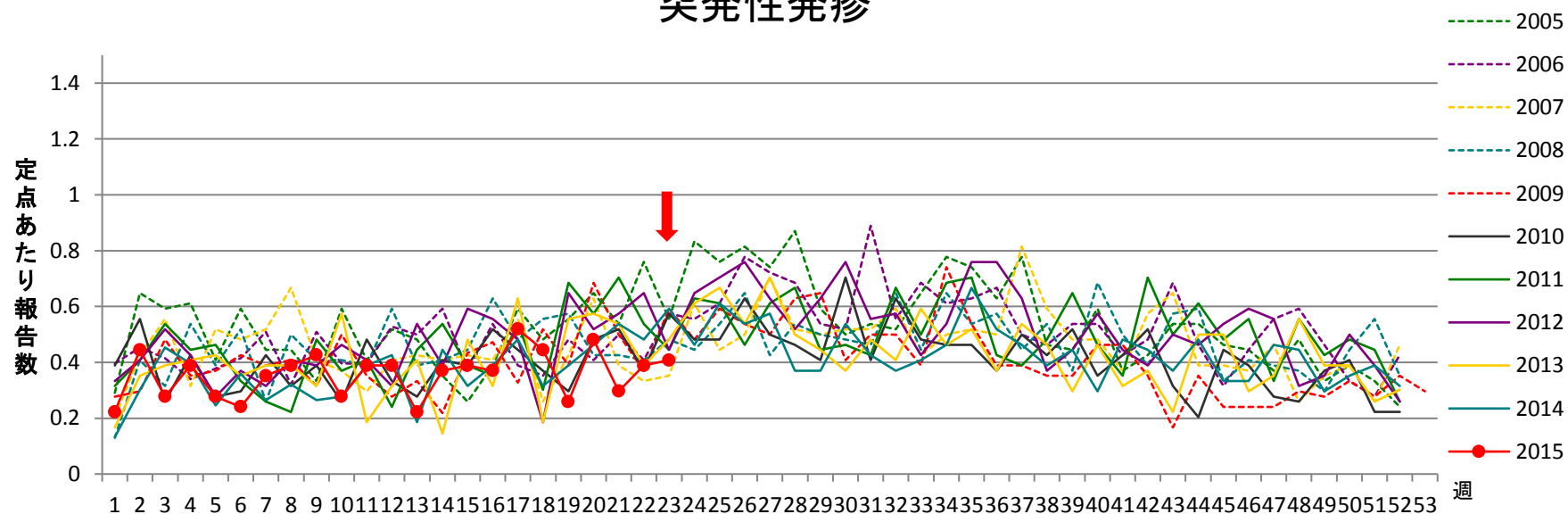
手足口病



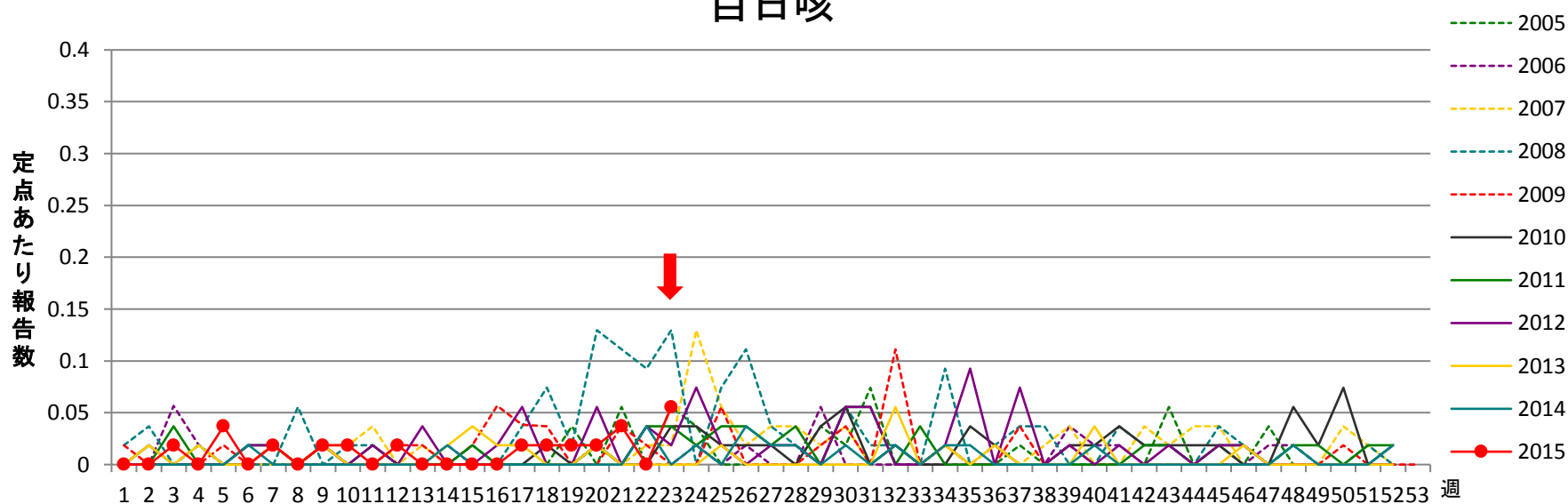
伝染性紅斑



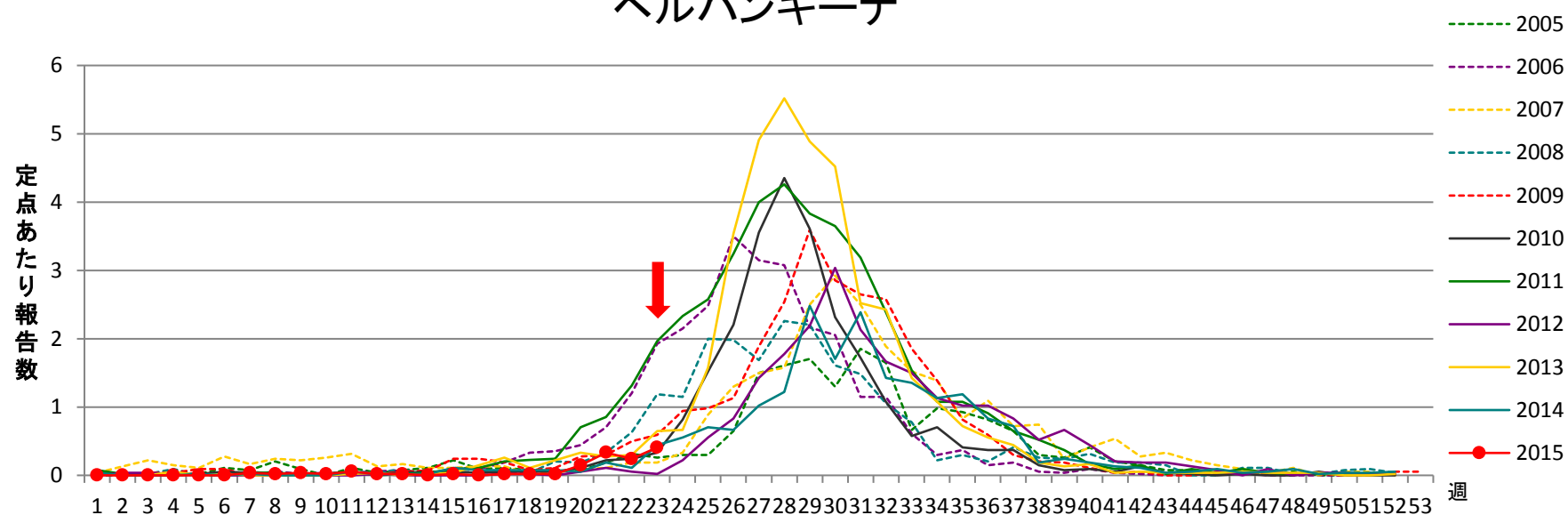
突発性発疹



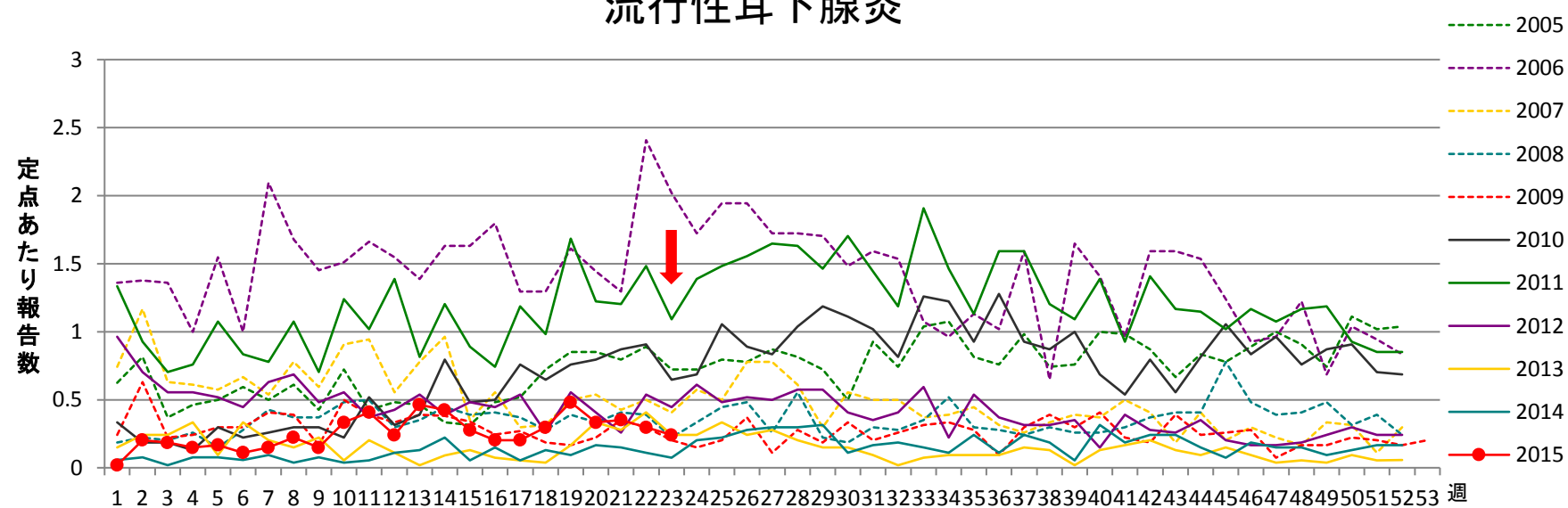
百日咳



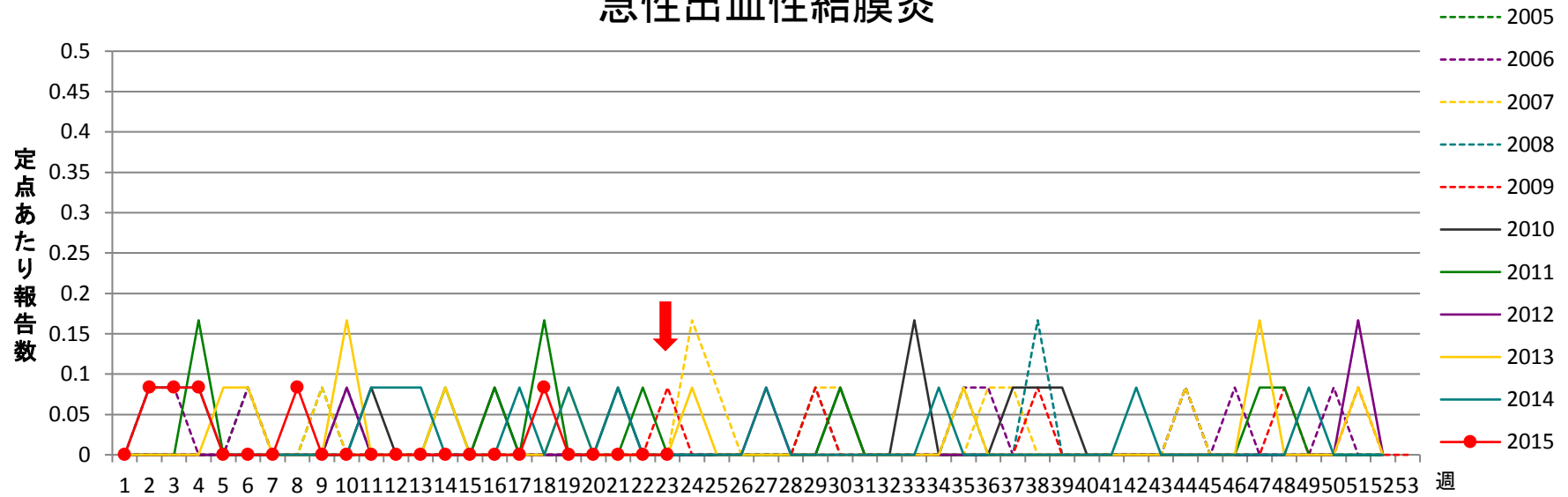
ヘルパンギーナ



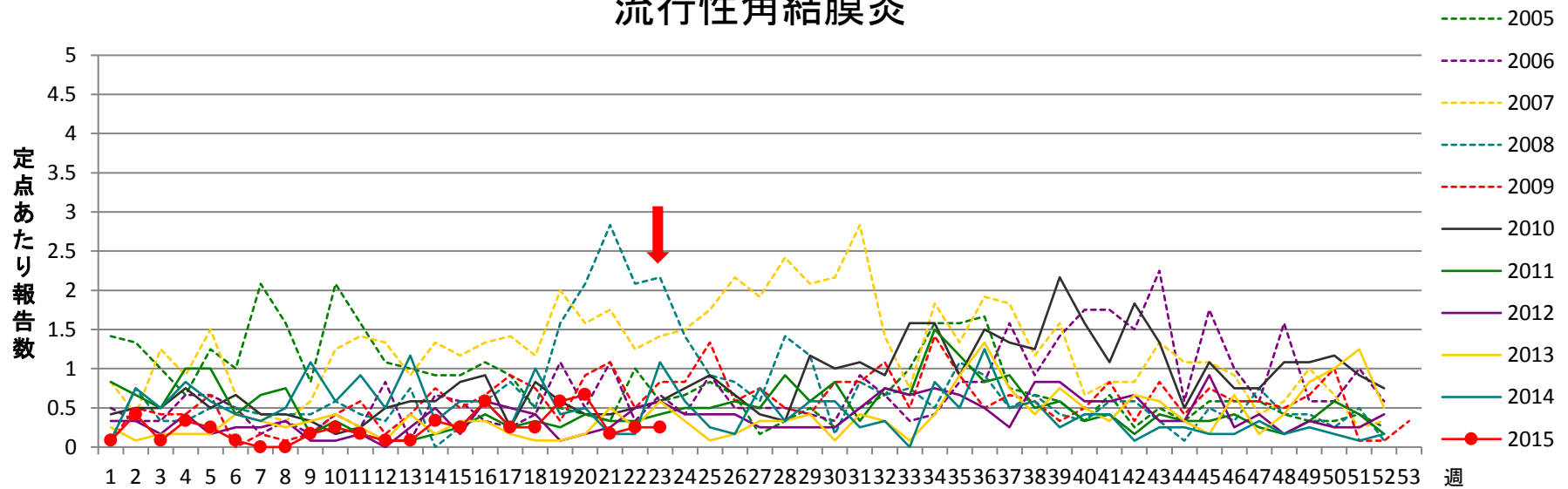
流行性耳下腺炎



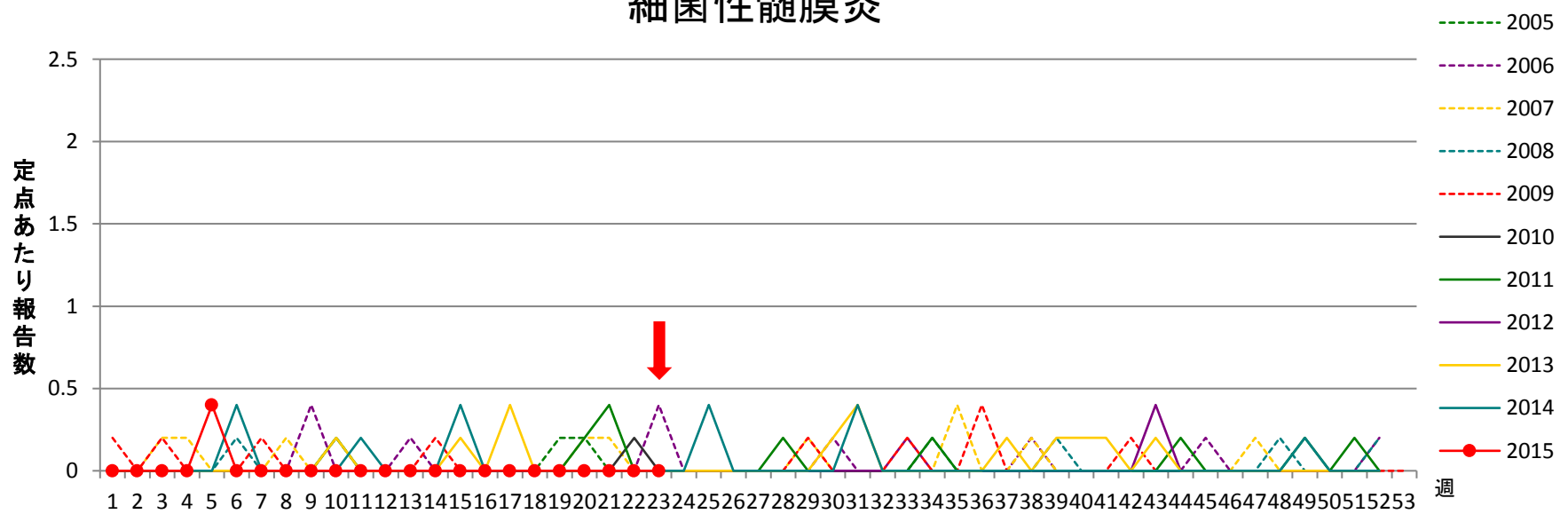
急性出血性結膜炎



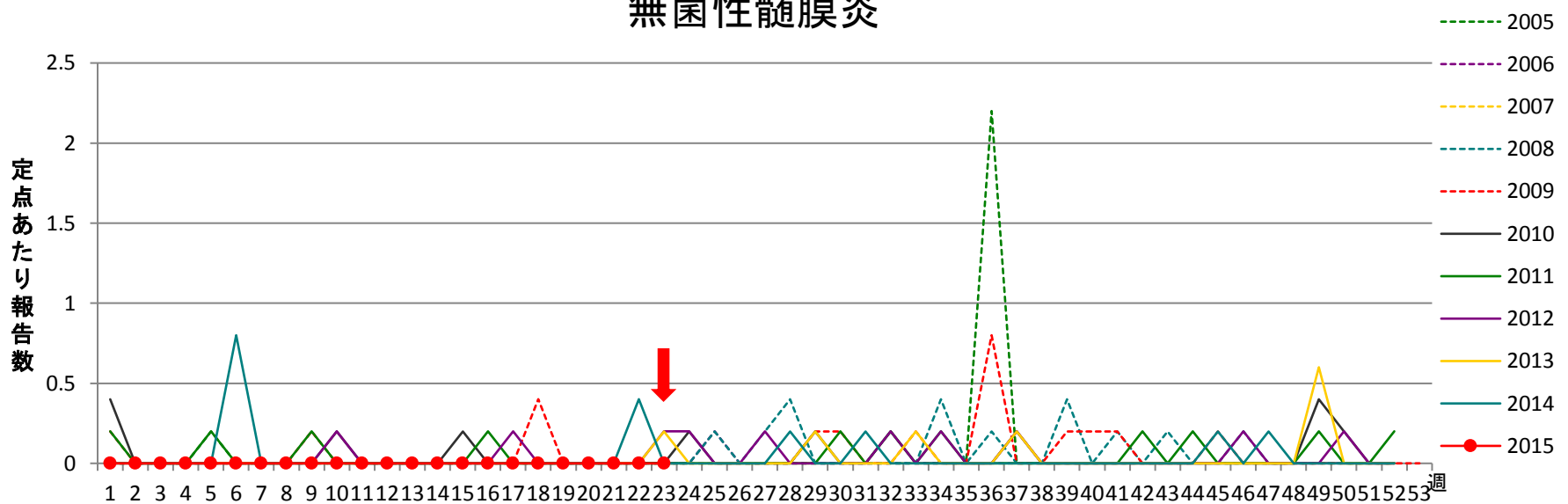
流行性角結膜炎



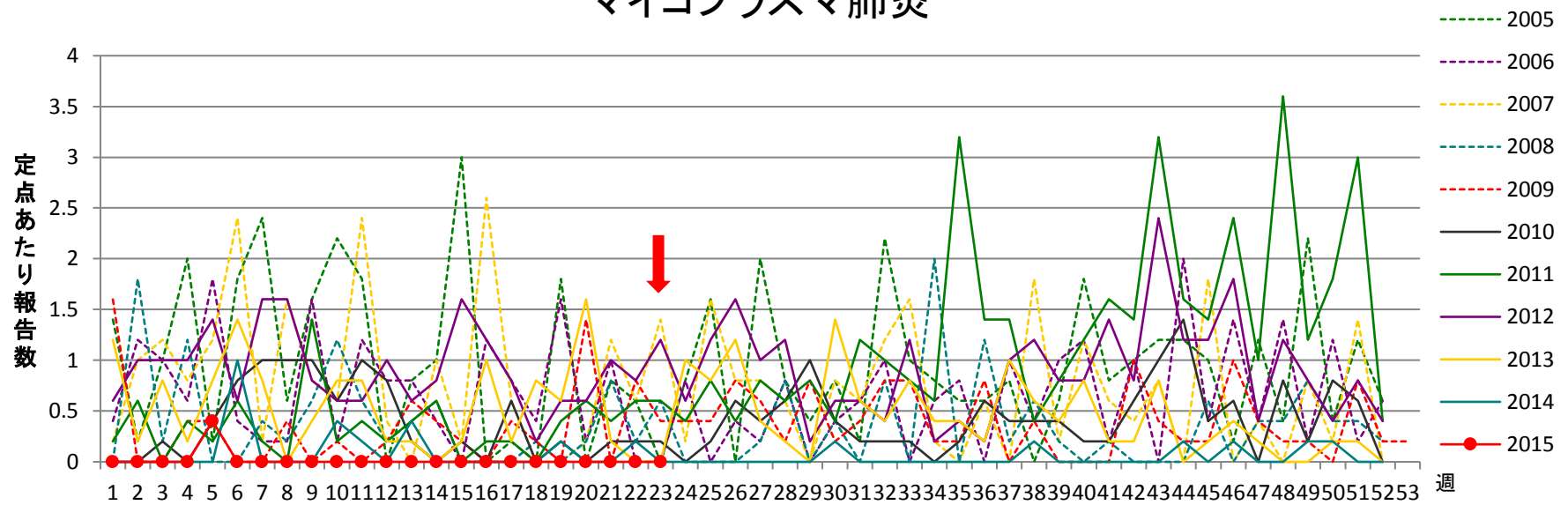
細菌性髄膜炎



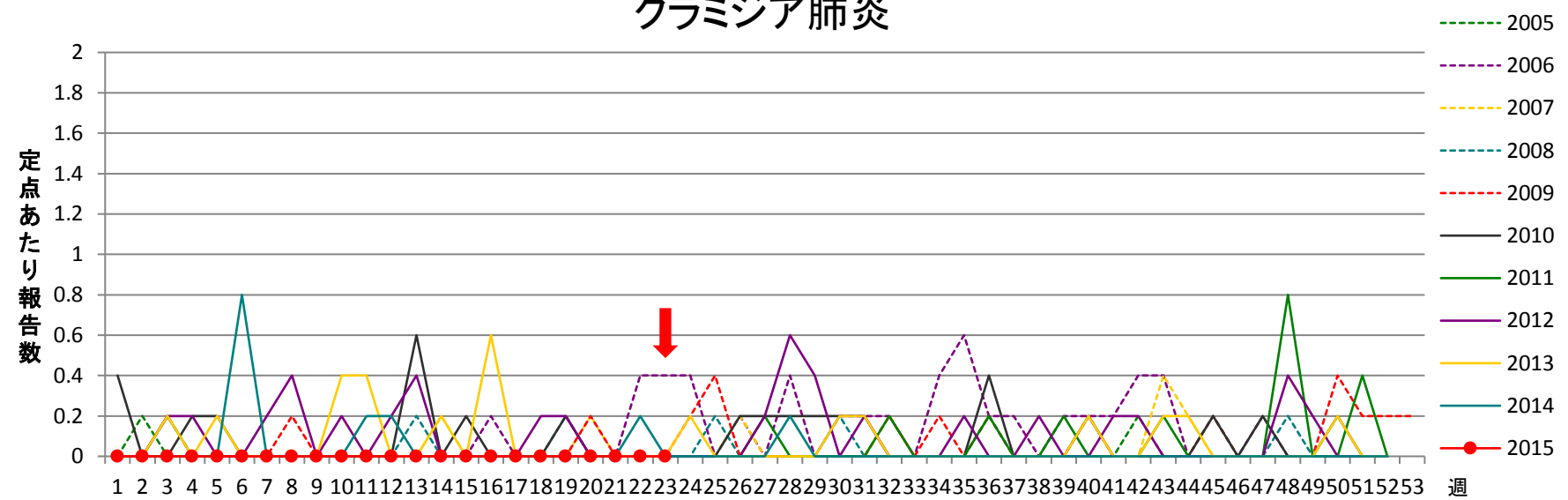
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

